

長崎市障害者自立支援協議会 地域生活支援部会

■地域生活支援部会 令和5年度 活動報告

※下記における係別グループとは4市合同係、情報交換会系の2グループを指す。

日 時	内 容
<p style="text-align: center;">【第1回コア】</p> <p>4月21日 対面 20名</p>	<p>① 自己紹介</p> <p>② 今年度の運営について</p> <p>③ 関係する法改正等について</p> <p>④ 今年度の計画について（係別グループで、取り組みたい内容について協議→全体で共有）</p> <p>⑤ 事例検討</p> <p>⑥ 事務連絡</p>
<p style="text-align: center;">【第2回コア】</p> <p>5月12日 対面 19名</p>	<p>① 自立支援協議会、地域生活支援部会について</p> <p>② これまでの地域生活支援部会の取り組みについて</p> <p>③ R4年度の居住サポート事業、地域移行・地域定着支援件数報告</p> <p>④ 今年度の計画について（係別グループで、取り組みたい内容について協議→全体で共有）</p> <p>⑤ 事務連絡</p>
<p style="text-align: center;">【第3回コア】</p> <p>6月9日 対面 18名</p>	<p>① 係別協議（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>② 事例検討（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>③ 事務連絡</p>
<p style="text-align: center;">【第4回コア】</p> <p>7月14日 対面 20名</p>	<p>① 係別協議（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>② 事例検討（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>③ 事務連絡</p>
<p style="text-align: center;">【他市町情報交換会】</p> <p>7月14日 対面 18名 市外からの参加者 87名 (会場27名、リモート60名) 計105名参加</p>	<p>地域共生社会の実現に向けた包括的な相談支援を担える人材育成</p> <p>4市地域移行・地域定着部会合同情報交換会</p> <p>① 発起人挨拶</p> <p>② 各部会の取り組みについて（長崎県からの話題提供、長崎こども・女性・障害者支援センターからの話題提供、4市町からの話題提供にも包括に向けての取り組み状況、地域移行・地域定着の取り組む状況、障がい福祉計画について、市町における精神保健相談の主管、体制など</p> <p>③ 意見交換</p> <p>④ 休憩、グループ移動</p> <p>⑤ グループワーク</p> <p>⑥ まとめ</p>
<p style="text-align: center;">【第5回コア】</p> <p>8月18日 対面 23名 リモート 0名</p>	<p>① 係別協議（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>② 各種連絡</p> <p>③ 係別協議（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>④ 事例検討（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>⑤ 事務連絡</p>

日 時	内 容
<p>【情報交換会】</p> <p>9月7日</p> <p>対面 49名</p> <p>リモート 9名</p> <p>うち部会員 対面 22名</p>	<p>第1回地域生活支援情報交換会 オープン部会</p> <p>【長崎市役所2階多目的スペース、各事業所（リモート）】</p> <p>① あいさつ</p> <p>② 事業説明（地域移行・地域定着支援、聖障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について）</p> <p>③ 事前アンケート結果報告</p> <p>④ 事例紹介</p> <p>1) 2回地域移行支援を利用した事例 田川療養所+ピアスタッフ</p> <p>2) 地域移行・定着支援を利用すればよかった事例 光仁会病院</p> <p>3) 地域定着支援を利用した事例 やまぼうし+訪問看護あんこう</p> <p>⑤ グループワーク（自己紹介→アンケート報告や事例紹介を踏まえた意見交換→退院支援や地域移行・定着支援の実際、生活支援について→気づきと今後の取り組み</p> <p>⑥ 各グループの発表</p>
<p>【第6回コア】</p> <p>10月13日</p> <p>対面 20名</p>	<p>① 第1回情報交換会アンケート結果報告、振り返り</p> <p>② 第2回情報交換会について</p> <p>③ 運営会議報告</p> <p>④ 他市合同情報交換会について</p> <p>⑤ 事例検討（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>⑥ 事務連絡</p>
<p>【第6回コア】</p> <p>11月10日</p> <p>対面 20名</p>	<p>① 第2回情報交換会について</p> <p>② 係別協議（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>③ 事例検討（係別グループで協議→全体で共有）</p> <p>④ 事務連絡</p>
<p>【情報交換会】</p> <p>12月8日</p> <p>対面 48名</p> <p>リモート 0名</p> <p>うち部会員 対面 17名</p>	<p>第2回地域生活支援情報交換会 オープン部会</p> <p>【長崎市役所2階多目的スペース】</p> <p>① あいさつ</p> <p>② 自己紹介</p> <p>③ 座談会（現在、支援で困っていること、課題だと思っていること。それに対する解決方法。）</p> <p>④ アンケート入力</p>
<p>【第6回コア】</p> <p>1月12日</p> <p>対面 19名</p> <p>リモート 0名</p>	<p>① 第2回情報交換会の振り返り</p> <p>② 1年間のまとめの役割分担、（案をもとに）編集→その場で作成</p> <p>③ 係別打ち合わせ、事例検討</p> <p>④ 全体共有（4市+県「にも包括」に向けた情報交換会について。事例割愛し、後日メールにて共有予定とした。）</p> <p>⑤ 事務連絡</p>

日時	内容
【他市町情報交換会】 2月9日 対面 18名 市外からの参加者 73名 （会場29名、リモート 44名）	地域共生社会の実現に向けた包括的な相談支援を担える人材育成 4市+県「にも包括」に向けた情報交換会 ① それぞれの取り組みについて ② 長崎県からの話題提供 ③ 長崎こども・女性・障害者支援センターからの話題提供 ④ 諫早市、大村市、西海市、長崎市からの話題提供 ⑤ 佐世保市からの話題提供 ⑥ 西彼保健所からの話題提供
3月8日 対面予定	① 次年度の計画について ② 事例検討

※令和5年8月29日開催の令和5年度 精神障害者社会参加促進事業ピアサポートに関する研修会に長崎市役所から、部会員として数名リモートで参加。

■達成できたこと

- ① **精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（以下、「にも包括」と記載。）の協議の場**
 ピアスタッフも交え、他職種で情報交換をすることで、顔の見える関係を構築し、より良い支援に実際に繋がったという声もあった。
- ② **部会員の多様性**
 昨年度末に部会員の拡大を図り、三和中央病院、光仁会病院、道ノ尾病院、田川療養所、杠葉病院の5精神科病院のケースワーカーが参加。12相談支援事業所、長崎市地域保健課、長崎市障害福祉課がコアメンバーとして参加。
- ③ **情報交換会における多様性**
 多様な参加者による情報交換会を実施できた。ピアスタッフや医療機関、訪問看護ステーションによる事例紹介も行った。
- ④ **ニーズ把握**
 第1回情報交換会参加申し込み時に地域移行・定着支援の実施状況やニーズ調査を実施し、実態把握を行った。その結果、参加医療機関の4割において、地域移行利用が想定される患者が1～4名いるという回答であり、利用したいが計画相談の相談支援事業所が見つからない状況であり、利用困難という現状が浮き彫りとなった。また、相談支援事業所の7割が地域移行・地域定着支援を担当したことがないとの結果となった。ニーズに対し十分な余裕をもって計画相談等を引き受けられない相談支援事業所の実情があり、マンパワー不足を改善するための具体的な取り組みが求められる。
- ⑤ **他市との情報共有**
 他市との合同部会（2回）を通じ、他市の取り組みを知り、情報共有を図ることができた。

■課題等

- ① **「にも包括」の協議の場**
 長崎県が作成した「にも包括」構築の指標の把握や、指標に対する具体的な取り組みと振り返りは不足しているといえる。そのための時間を協議会で確保することが困難な状況がある。
 「にも包括」の分野は多岐にわたっており、当部会のみで解決できるものではない。ただし、当部会での既存の取組そのものが、協議の場を設置した場合に想定される協議内容やメンバーとおおむ

ね合致することから、協議の場と位置付け、前年度より情報交換会（2回実施）及び他市との情報交換会（2回参加）を協議の場を兼ねる形としている。

当部会においては、今年度、情報交換会において、ピアスタッフの参加や事例紹介を通し、当事者と協同し、にも包括を構築していくために必要なことについて具体的に考えるきっかけ作りとなった。参加対象において当事者の母数が少なかった点が反省点である。にも包括協議の場について、地域生活支援部会としての活動に兼ねる形の設置で良いのかどうかという点については、部会員内でも意見はさまざまである。にも包括においては、地域の課題抽出及び協議において、参加者が多様であった方が良いとの考え方がある。一方、多様にすることで、議論を深めにくい、当事者への十分な配慮が必要という観点もあり、その実施方法やフォローアップ体制の充実は課題である。例えば、精神障害のある当事者を交えて話す際に、思わぬことから当事者に誤解を与えてしまい、不穏になられる場合もある。医療者・支援者・当事者・家族等似たような立ち位置の似た者同士で話す場、多種多様なメンバーで話す場といった機会が両方あった方が良いと思われるが、人手不足や当部会の実施頻度等により、年2回の情報交換会開催で手一杯の現状がある。

③ 地域移行支援・定着支援

マンパワー不足や感染症流行により、特に地域移行支援が進まない状況がある。引き続きコア部会や情報交換会を通じ、医療機関との連携を深めることで、地域移行支援・定着支援の理解啓発、事業推進に繋げていく必要がある。実際に利用した当事者の声を届ける機会を作っていくこと、マンパワー不足をいかにして解消していくかということ、人手不足の中でどう工夫して実現していくかという点が今後の課題である。今後、ピアサポーターの活動を行っている団体やピアサポーター養成講座修了生の活用も想定される。

④ 事例検討

部会コアメンバーが多いため、2グループに分かれて事例検討を実施。イベントを減らし、事例検討の時間を充実させることが目標であったが、事例検討の時間を十分にとれなかった。またグループを固定していたが、グループを毎回変えた方が良いのかどうか等、要検討事項である。情報交換会は大変意義深いですが、実施回数を1回にすることで、より事例検討を深めることができるようになると思われる。

⑤ 実施計画

コアメンバーが大幅に増えた状態で、年間計画を新年度開始後に検討したことで、時間を要し、実際のイベント実施が遅れた状況があった。次年度はできるだけ、前年度内に実施計画を固めることで、スムーズな運営につなげたい。

⑥ 運営

運営規定を前年度に整備し、会長・副会長・補佐の任期を1年とした。現在、次年度の副会長を探しているところであるが、各事業所の人手不足や業務過多といった諸事情もあり、なかなか見つかりにくい状況がある。出欠確認に調整さんソフト、イベント実施やアンケートにグーグルフォームを活用する等したが、今後も引き続き業務効率化の工夫を重ね、役員の負担を軽減していく必要がある。